

平成30年度社会福祉法人匠瑛市社会福祉協議会事業報告

1. 法人運営

(1) 理事会3回

開催日	会議	議題
平成30年6月11日	第1回理事会	<p>〈決議事項〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 平成29年度社会福祉法人匠瑛市社会福祉協議会事業報告の承認について 平成29年度社会福祉法人匠瑛市社会福祉協議会会計決算の承認について 社会福祉法人匠瑛市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について 社会福祉法人匠瑛市社会福祉協議会評議員選任解任委員会の招集について 社会福祉法人匠瑛市社会福祉協議会第1回評議員会の招集について
平成30年10月30日	第2回理事会	<p>〈報告事項〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 会長の職務の執行状況の報告について <p>〈決議事項〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 平成30年度社会福祉法人匠瑛市社会福祉協議会資金収支補正予算（第1号）について 社会福祉法人匠瑛市社会福祉協議会定款施行細則の一部改正について 社会福祉法人匠瑛市社会福祉協議会理事・監事・評議員選任規程の一部改正について 社会福祉法人匠瑛市社会福祉協議会評議員の選任等に関する規程の一部改正について 社会福祉法人匠瑛市社会福祉協議会職員貸与規程の一部改正について 社会福祉法人匠瑛市社会福祉協議会車椅子並びに特殊寝台貸与事業実施要綱の一部改正について 社会福祉法人匠瑛市社会福祉協議会障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定障害福祉サービス居宅介護・重度訪問介護事業所運営規程の一部改正について 平成30年度第2回評議員会の招集について
平成31年3月20日	第3回理事会	<p>〈決議事項〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 平成30年度社会福祉法人匠瑛市社会福祉協議会資金収支補正予算（第2号）について 平成31年度社会福祉法人匠瑛市社会福祉協議会事業計画について

平成 31 年 3 月 20 日	第 3 回理事会	3. 平成 31 年度社会福祉法人匠瑳市社会福祉協議会資金収支予算について 4. 社会福祉法人匠瑳市社会福祉協議会事務局長の就業に関する規程の制定について 5. 社会福祉法人匠瑳市社会福祉協議会平成 30 年度第 3 回評議員会の招集について
------------------	----------	---

(2) 評議員会 3 回

開催日	会議	議題
平成 30 年 6 月 26 日	第 1 回評議員会	〈決議事項〉 1. 平成 29 年度社会福祉法人匠瑳市社会福祉協議会事業報告の承認について 2. 平成 29 年度社会福祉法人匠瑳市社会福祉協議会会計決算の承認について 3. 社会福祉法人匠瑳市社会福祉協議会理事の選任について
平成 30 年 10 月 30 日	第 2 回評議員会	〈書面会議〉 1. 平成 30 年度社会福祉法人匠瑳市社会福祉協議会資金収支補正予算（第 1 号）について
平成 31 年 3 月 6 日	第 3 回評議員会	〈決議事項〉 1. 平成 30 年度社会福祉法人匠瑳市社会福祉協議会資金収支補正予算（第 2 号）について 2. 平成 31 年度社会福祉法人匠瑳市社会福祉協議会事業計画について 3. 平成 31 年度社会福祉法人匠瑳市社会福祉協議会資金収支予算の承認について

(3) 監事監査の実施 平成 30 年 5 月 29 日 平成 29 年度業務執行状況及び財産状況監査

(4) 正副会長会議 平成 30 年 5 月 30 日
平成 30 年 9 月 21 日
平成 31 年 3 月 18 日

(5) 評議員選任解任委員会 平成 30 年 6 月 18 日

2. 広報啓発事業

- (1) 社協広報紙「ほっとそうさ」発行（13, 200部×年1回）新聞折り込み
- (2) 広報用パンフレット作成
社協事業紹介、会員募集パンフレット（1, 900部）
- (3) 社協ホームページの運営管理

3. 地域福祉事業

- (1) 地区社協活動への支援

地区社協事業費・運営費等助成金一覧

地 区	合計金額(円)
八日市場	1,463,153
豊 栄	637,673
須 賀	655,273
匝 瑳	321,397
豊 和	459,981
吉 田	342,674
飯 高	290,324
共 興	537,071
平 和	627,983
椿 海	487,227
野 栄	1,606,689
合 計	7,429,445

- (2) 地区社協会長会議開催

第1回 平成30年5月18日

- ・平成30年度地区社協事業費・運営費の交付について
- ・平成30年度社会福祉協議会会員募集のお願いについて
- ・平成30年度日本赤十字社資募集のお願いについて
- ・生活支援体制整備事業について

第2回 平成30年9月21日

- ・平成30年度赤い羽根共同募金及び歳末たすけあい運動のお願いについて
- ・生活支援体制整備事業に係る講演会開催に向けての実行委員会委員の推薦について
- ・保健推進委員を対象とする細菌検査について

第3回 平成31年2月16日

- ・平成31年度地区社協事業費・運営費の交付について
- ・地域福祉活動計画の見直しについて
- ・生活支援体制整備事業について

(3) 地区社協役員視察研修

平成30年9月18・19日（一泊二日）宮城県美里町中埜地区での東日本大震災時における安否確認や避難所運営、震災後における地域の見守り活動やサロン活動についてのお話を聞くとともに、地域福祉活動についての意見交換を行った。

参加者、社協役員、地区社会福祉協議会会長・役員、事務局員計36名。

(4) サテライトデイサービスの開催協力

地区社協事業として実施するサテライトデイサービスに職員を派遣し、給食材料費を助成した。

地区	第1回		第2回		参加者数計	交付額
	開催日	参加者数	開催日	参加者数		
八日市場						
(若潮町)	6月14日	15			15	7,500
(下出羽)	6月30日	21			21	10,500
小計		28			28	14,000
豊栄	10月28日	45	2月24日	42	87	43,500
須賀	11月30日	44	2月28日	38	82	41,000
匝瑳	11月17日	42			42	21,000
豊和	10月27日	63			63	31,500
吉田	11月18日	46	2月24日	67	113	56,500
飯高	11月4日	68			68	34,000
共興	3月2日	60			60	30,000
平和	11月10日	60	3月2日	71	131	65,500
椿海	3月14日	55			55	27,500
野栄	11月20日	63	2月27日	49	112	56,000
計		582		267	849	424,500

(5) 地区社会福祉協議会活動紹介紙「広報おむすび」の発行（1, 300部×年1回）

(6) 地域福祉フォーラム事業

地域内の様々な団体・組織、地域住民により地域づくりのあり方・取り組みについて話し合い、課題や問題を明らかにし、その解決に向け取り組む千葉県地域福祉フォーラム事業を、地区社協組織を基盤とする小域圏で実施。

平成30年度は匝瑳地区・野田地区・栄地区の3地区の地域福祉フォーラム実行委員会でいきいきサロン・役員視察研修等を実施し市社会福祉協議会として支援を行った。

(7) あんしん箱設置事業

ひとり暮らし高齢者等へのあんしん箱の設置。継続的な見守りと訪問活動の支援。

・設置個数 1, 318個（平成31年3月31日現在）

地区名	配布個数
八日市場地区	184
豊栄地区	123
須賀地区	56
匝瑳地区	56
豊和地区	185
吉田地区	43
飯高地区	110
共興地区	151
平和地区	95
椿海地区	34
野栄地区	281
計	1318

(8) 高齢者 SOS ネットワーク事業

関係各機関との連携により、道に迷い自宅に戻れなくなった高齢者を、早期に発見保護し家族のもとへ届ける、高齢者 SOS ネットワークを実施。

事前登録者数 46名（平成31年3月31日現在）

(9) 車いす貸し出し事業

・車いす貸出件数 51件

(10) 児童の健全育成事業

- ①特別支援学級合同学習に助成
- ②ことばの教室親の会に助成
- ③青少年相談員連絡協議会に助成
- ④母子寡婦福祉会に助成
- ⑤子供会育成連絡協議会に助成

4. ボランティア活動育成事業

(1) ボランティアセンターの運営

(2) 登録ボランティアの活動保険加入（445人）

(3) ボランティア連絡協議会の運営支援

(4) ボランティア情報誌「touch」の発行 平成30年10月（10,800部）新聞折込

(5) ボランティア研修会等の開催

講座・研修	開催日	参加者	内 容
ボランティア フェスタ 2018 開催	10月14日	315名	ボランティア連絡協議会主催のボランティアフェスタ開催の後援及び支援
災害ボランティア センター立ち 上げ訓練	1月19日	60人	銚子市・旭市・匝瑳市の三市合同災害ボランティアセンター立ち上げ訓練に参加

(6) 福祉教育の推進

講師としてボランティアグループの福祉出前講座「フレンドリー」を派遣した。

学 校 名	実 施 日	対象学年	内 容
吉 田 小	7月4日	5～6年生	身体講話・車椅子介助体験
	9月18日	3・4年生	手話学習
八日市場小	10月24日	4年生	身体講話・車椅子介助
栄 小	9月14日	4年生	身体講話・車椅子介助
椿 海 小	11月5日	4年生	身体講話・車椅子介助
共 興 小	11月20日	3年生	手話学習
豊 栄 小	11月28日	4年生	身体講話・車椅子介助体験
	11月30日	4年生	手話学習

5. 相談事業

(1) 法律相談

弁護士による無料法律相談を隔週月曜日、午後1時から4時まで開設

開設日数 24日 相談件数 128件

相談事項	
生 計	6
職業・生業	10
住 宅	7
家 族	14
離婚・結婚	18
健康・衛生	1
人権・法律	4
財 産	18
債権取立	5
債務弁済	9
相 続	23
事 故	5
福祉関係	2
苦 情	1
そ の 他	5
合 計	128

6. 老人福祉事業（市受託事業）

(1) 介護予防事業

閉じこもり予防、認知症、うつ予防デイサービス事業

介護保険の介護認定を受けていない高齢者に対し、閉じこもり予防、認知症、うつ予防を目的にデイサービス事業を毎週月曜日に実施。

- ・実施日数 50日
- ・利用登録者 10人（平成31年3月31日現在）
- ・延べ参加者数 477人

(2) 生活管理指導員派遣事業

介護保険の介護認定を受けていない高齢者で日常生活を営む上で支障のある方にホームヘルパーを派遣し、生活援助・相談等のサービスを提供。

- ・利用者数 5人（平成31年3月31日現在）
- ・延べ派遣件数 338件

7. 介護保険事業

(1) 居宅介護（予防）支援事業

（平成31年3月31日現在休止中）

(2) 訪問介護（予防）事業

要介護状態、要支援状態にある高齢者に対し、保険、医療、福祉との連携を図りながら、訪問介護サービスの提供に努めた。

- ・ 訪問介護 218人
- ・ 予防訪問介護 114人

8. 小規模多機能型居宅介護事業所「紙ふうせん」の経営

地域密着型サービスとして「紙ふうせん」を経営し、通い・訪問・宿泊サービスを提供。

(1) 利用状況

- ・ 利用登録者数 23名 （平成31年3月31日現在）
- ・ 利用延べ件数 通い 2,972名
訪問 1,388名
泊まり 138名

(2) 運営推進会議開催

「紙ふうせん」運営推進会議を6回開催し、運営状況、利用実績等報告した。

(3) 施設事業

- ・ 季節事業 お花見会、外出レク、七夕、敬老会、運動会、サンマ祭り
文化祭、クリスマス会、書き初め、初詣、節分、ひな祭り
- ・ 定例行事 お誕生日会、外食会、買い物支援
- ・ 地域交流 十二所神社の立ち寄り
- ・ ボランティア協力 折り紙、日本舞踊、手品、カラオケ、コーラス、銭太鼓
ウクレレ演奏会、ダンス、健康体操、フラダンス、ギター演奏
ハーモニカ・唄

- ・その他 防災避難訓練
- 消防・避難訓練
- 外部研修 (介護記録の書き方 認知症の方との向き合い方)
- (地域密着型介護サービス指定事業者説明会)

9. 障害者福祉事業

- (1) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定障害福祉サービスを提供（居宅介護・重度訪問介護）

・居宅介護件数 219人

10. 共同募金事業

共同募金支会事務局の運営

- (1) 平成30年10月1日から平成31年3月31日まで6ヶ月「赤い羽根共同募金運動」実施

募金目標額 4,450,000円

募金実績額 4,475,100円

- (2) 平成30年12月1日から12月31日まで1ヶ月「歳末たすけ合い運動」を地区社協、民生委員の協力で実施

募金目標額 2,337,000円

募金実績額 6,348,772円

見舞金額 1,897,000円

1 1. 日常生活自立支援事業

判断能力が十分でない高齢者や障害者に、福祉サービスや日常的な金銭管理などの援助を行い地域で安心して暮らせるよう支援を実施

支援者数 21件（23人）

1 2. 貸付事業

低所得者、高齢者、身体障害者世帯の経済的自立と安定した生活の維持を目的に貸付事業を実施。

(1) 相談件数 127件

(2) 生活福祉資金貸付

種別	平成30年度新規貸付件数	現在償還中件数
総合支援資金	0件	16件
福祉資金	緊急小口資金 31件 福祉費 2件	緊急小口資金 30件 福祉費 13件
不動産担保型	0件	0件
教育資金	3件	15件

(3) 生活福祉資金償還業務

償還時期を迎えた生活福祉資金借用者に対する償還業務。

予定日に償還引き落としが出来なかった生活福祉資金借用者に対し、電話・郵送・訪問による償還指導を実施。引き落としが出来なかった理由を確認するとともに、生活指導が必要な滞納者に対しては生活指導を実施し、生活状況を改善するためのアドバイスならびに償還を促した。

1 3. 援護・法外援護事業

(1) 応急援護 4件

14. 安心生活基盤構築事業

自主財源の確保として設置した「寄付つき自動販売機の設置」については引き続き、飲料メーカー地区社協の協力のもと、平成24年度より小規模多機能型居宅介護施設「紙ふうせん」、市民ふれあいセンター、地区のコミュニティセンター、野菜ふれあい公園等に13台配置し、売上の一部が地区の福祉活動の財源となる。

地域における福祉の担い手不足の解決の為、平成27年度より事業を開始した「社会福祉推進委員」は平成31年3月31日現在112名となった。

自主財源の確保	寄付つき自動販売機の設置	平成30年4月～平成31年3月 「飯高地区」「椿海地区」「豊和地区」「共興地区」 「吉田地区」「野菜地区」「平和地区」「本会」で実施。
---------	--------------	---

災害時要援護者台帳の更新

市内全域（平成31年3月31日現在）

- ・災害時要援護者数 1,450名
- ・高齢者のうち要援護者占有率 11.8%

15. 地域福祉活動計画の施行

複雑化する地域課題の解決のため、匝瑳市と匝瑳市社会福祉協議会が一体となって市全域の地域福祉を促進するための指針として、平成27年度から平成31年度までの5年間を計画期間として匝瑳市地域福祉計画及び地域福祉活動計画により計画を施行した。

現在、第2次計画を策定中。

16. 生活困窮者自立支援事業（市受託事業）

生活困窮者に対して家計、就労などの相談支援を包括的・継続的に行う事により早期に困窮状態から脱却し自立の促進を図った。

- ・相談件数 36件

相談経路	本人（来所）	6件
	本人（電話）	3件
	家族・知人（来所）	2件
	家族・知人（電話）	0件
	関係機関・関係者紹介	25件
	計	36件

17. 生活支援体制整備事業（市受託事業）

「地域包括ケアシステム」の構築に向け、地域のささえあいによる「互助」の取り組みが推進できるよう事業を実施。

支え合い・助け合い市民フォーラム実行委員会の企画により、平成31年1月14日に匝瑳市民ふれあいセンター大ホールで「支え合い・助け合い市民フォーラム in 匝瑳」を開催、公益財団法人さわやか福祉財団土屋幸己氏の基調講演と市内3地区の地区社会福祉協議会から参加のパネルディスカッションを実施。参加者は212名。

また、地域の支え合い・助け合い体制づくりを推進するための関係者の話し合いの場として「匝瑳市地域支え合い推進会議（第1層協議体）」が設立され、事務局として運営を行った。

18. 法人後見事業

千葉県社会福祉協議会の法人後見立ち上げ支援事業を活用し、法人後見受任に向けた体制整備を実施するとともに、担当職員が各種研修会に参加し成年後見制度に関する知識と実践を深めた。

また、弁護士や司法書士、社会福祉士といった専門職と、行政職員により構成される法人後見運営委員会を開催し、事業の推進に向けた連携体制を構築した。

平成31年3月31日現在成年後見受託者2名。

平成30年度事業報告には、社会福祉法第45条の27第2項に規定する付属明細書については、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和 元年 5月

社会福祉法人匝瑳市社会福祉協議会